2023年度・第4回未来会議（全体会）議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
副会長兼書記・広報　伊藤　智子

日時：　2023年7月16（日）13：30～15：00

場所：　西集会所

出席者（順不同、敬称略）：
須都　紘（会長）、黒部　實（副会長）、伊藤　智子（副会長・書記・広報）、
鎌田　卓（事務局長・会計）、平尾　英城、黒田　勝行、渡辺　昇、田口　信義、
中川　浩光、
オブザーバー：　中尾節子
欠席：　山田　勲、中世古　昭一、山田　修、三室　哲哉、山地　祐輔、
蔵田　かほり

配布資料：
① 令和5年度第4回（7月度）未来会議（全体会＆分科会）議題（案）
② 鹿ノ台中央公園ワークショップ Day2（6月17日）発表まとめ
③ 未来会議子育て分科会　報告メモ　2023年6月18日
④ 鹿ノ台春まつり　企画（案）　V2
⑤ 令和5年度　鹿ノ台春まつり実行委員会体制（案）V2
⑥ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　実証運行　乗車実績（人数）
R5.6月度
⑦ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行実績
分析【令和5年6月度】

会長挨拶

・未来会議子育て分科会が開催した「鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ」の2回目について、7月13日の朝日新聞朝刊に記事が掲載された。子育て世代が喜ぶアイデアを出し合い、それを転入促進につなげていくため、住民が中央公園の魅力を磨いている、という内容である。
・4月度の未来会議で、自治会および自治連合会の直面する課題と、これに対する活性化のための対応について話し合った。自治連合会の役員会でも6月と7月にこのテーマで話し合いをされている。今後実施する未来会議と自治連合会の連絡会について、やり方を本日話し合いたい。

子育て分科会報告

<u>鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ：</u>
・3回シリーズのワークショップを既に2回実施した。1回目（5月20日）には、事前

の「アイデア募集」の結果と、生駒市みどり公園課からのお話しを受けて、参加者の皆さんに自由にアイデア出しをしていただいた。2回目（6月17日）は、中央公園でのフィールドワークを行いつつ、その中から特に実現したいアイデア、実現可能なアイデアに、全体で15案に絞り込んでいただいた。
・7月22日（土）に開催する3回目では、この15案について、縦軸に時期（①1年以内に実施、②1年以上かけて準備）。横軸に規模（①個人または各グループだけで実施可能、②ワークショップ参加者の希望するメンバーで実施可能、③未来会議・自治連合会の協力または承認が必要）という形で6つに分類する。
・さらに、それぞれの案についてリーダーに名乗り出ていただく。リーダーがついた案について、参加者から協力者を募り、企画を進めていただく。
・子育て分科会のメンバーは、それぞれの企画チームに最低1人ずつ関与し、企画の進行を助けつつ、企画チームと未来会議および自治連合会とのつなぎ役となる。特に、内容によっては未来会議や自治連合会への報告や相談が必要と思われる場合、あるいは承認が必要とされる場合などに、そうしたアドバイスおよび連絡を行う。

意見：　リーダーの名乗りが挙がらなかった案でも、良い案があればもったいないので、子育て分科会や未来会議などで実現を目指したらどうか。
回答：　子育て分科会は現時点で6名であり、ワークショップで出された企画案の実施も一緒に担っていく立場である。加えて、子育て分科会は、来年の春まつりでも子どもイベントを担当することになっており、すでに手一杯である。
回答：　1回目のワークショップで出されたたくさんのアイデアも、2回目で15案にまで絞り込んでおり、その時点ですでに廃案となったアイデアは多数ある。すべて拾っていくことは難しい。

<u>未来会議についてどう周知していくか：</u>
意見：　7月13日の新聞記事について、自治会員から意見があった。未来会議についてよく知らなかったとして、若い世代への環境づくりの必要性は認めつつ、すべての世代が気持ちよく過ごせる中央公園の環境維持を希望されていた。まず未来会議について住民に良く知ってもらうことが必要だと感じた。
回答：　未来会議が発足した令和3年度には、「みらい」というカラー刷りの広報誌を2回発行した。1号は未来会議の発足のお知らせ、2号は今後取り組んでいく課題が決定したことの報告だった。この広報誌は、令和4年度以降は発行できていないが、作成の手間を考えると、毎回作成している議事録を自治会で回覧してもらえたら有難いと思う。
意見：　いきいきホールは2カ月に1回、「いきいきだより」を8年間ほど発行してきている。同様に「未来会議だより」を発行したら良いのではないか。
回答：　議事録は毎回7～8ページもあり、回覧するには詳しすぎるのではないか。1～2ページの簡潔な広報を出すのは良いかと思う。担っていただける方がいれば名乗り出ていただきたい。
意見：　現役世代は回覧を見ていないので、回覧したことも知らないことが多い。ホームページも、自治会について調べようと考えること自体がないので見ていない。

⇒未来会議の広報については、今後の課題とする。

鹿ノ台春まつりについて

・企画案を作成した。日程は、来年3月30日（土）、雨天の場合は翌日3月31日（日）、両日とも雨天の場合は中止とする。時間は午前11時～午後3時で、出店は11時から、イベントは12時から。昼食ができるような時間とした。
・イベントは、コンサート、マルシェ・フリーマーケット、子どもイベント、同好会模擬演技などを8月に公募する。
・予算は2万7000円位。音響は自治会員の方にご協力いただく。
・中央公園の電源は年度末までに整備すると市から確約されている。
・公募対象者は、鹿ノ台自治会だけでなく、鹿ノ台校区（美鹿の台、鹿畑、うぐいす谷）まで広げたいと思うが異存はないか。⇒承認された。

質問：　2回目以降も継続してやるつもりか。音楽祭の様に17条委員会の「春まつり実行委員会」を立ち上げ、継続していったら良いのではないか。よんにちサロンも上演100回目を記念したイベントを予定しており、継続することは強い意志を持っていれば可能だ。大きなイベントは夏と秋にはあるが、春はないので続けて欲しい。ECOKA とのコラボという形で継続は可能ではないか。
回答：　1回やってみて、皆さんの評価や希望を受けて決めていきたい。鹿ノ台の春は「春まつり」と共にやってくるというような風物詩になれば嬉しい。
回答：　継続には強いモチベーションが必要である。例えば、いきいきホールで今年オータムフェスタを8回まで続けられるのは、いきいきホールを皆さんに知って活用していただきたいという強い思いがあったからである。春まつりを継続できるかどうかも、モチベーションの有無にかかってくる。

「鹿ノ台校区体力つくり活動（歩こう会）」について（報告）

・今年11月3日（金・文化の日）に開催予定の「歩こう会」について、先月の未来会議において、および今月の11自治会の評議員会から意見を頂いた。その結果を受けて、本年度の「歩こう会」は、鹿ノ台スポーツ公園のみで体力づくり活動を行うことに決定した。
・歩くことについて、複数の自治会から意見があった。大人数で歩道のない道路を歩くことに抵抗がある、車道に広がって歩く可能性がある、コース周辺住民から苦情が上がる可能性がある、評議員の立哨など負担増につながる、などである。
・前回1100名が参加した実績を勘案すると、足音や話し声、広がって歩くなどの問題が生じることは十分考え得るため、この結論に至った。
・スポーツ公園内での体力づくりの会にするので、名称変更も検討中である。
・内容としては、インストラクターの先生に40分位、ヨガの先生に20分くらい、合計1時間ほど運動をしていただき、歩いた場合と同等以上の体力づくりと満足が得られるようにしたい。
・スポーツ公園は1万6000平米。その半分が使用可能面積として計算しても、前回の参加者1100人程度の参加者が運動できるスペースが確保されている。
・骨密度の測定、野菜・果物・スイーツの移動販売も行われる。

・8月の連合役員会で概要を示し、9月の連合役員会で承認してもらい、同月の評議員会で申込書を配布し、9月中に申込書を取りまとめてもらう予定だ。

令和5年度未来会議と自治連合会との連絡会について

・未来会議が発足して3年目になる。1年目と2年目は、年1回、ふれあいホール大集会室を借りて、未来会議メンバー全員と自治連合会役員全員で、連絡会を開催してきた。未来会議は自治連合会と緊密な関係を保って活動していくことになっており、そのための連絡会である。
・初年度は、未来会議が何をしているかをお知らせする会議として意味があった。2年目も同様の形で開催したが、すでに未来会議について周知されているので、もっと意見交換をすべきではないかというご意見を頂いた。
・本年度は、よりしっかりと議論をするために、人数を絞って実施したらどうかという提案を連合会長より頂いている。具体的には、自治連合会からは連合会長・連合副会長4名・顧問の合計6名＋有志、未来会議からは幹事会メンバー4名＋有志の合計12～13名が参加するという形でどうだろうか。
・討論のテーマとしては、自治連合会で考えておられることで未来会議としても一緒に考えていきたい共通の課題を取り上げたら良いのではないか。今年は4月から自治会・自治連合会の課題と活性化のための対応について話し合われているので、それを連絡会のテーマの一つにしてはどうか。⇒（連合会長）自治連合会でも意見交換し、提案したい。
・日程は10月以降を考えている。未来会議全体会の日とは別の日に実施したい。⇒11月5日（日）午後14：00～、または11月23日（木・祝）午前9：30～または11月23日（木祝）午後14：00～のいずれかで調整する（それぞれ2時間程度）。

鹿ノ台コミバス月度乗車実績について（報告）

まちづくりの重要な課題の一つが移動手段の確保である。いきいき街づくり会でも、ドア to ドアの送迎サービスを実施している。これに加えて、鹿ノ台が生駒市のコミバスの実証地域として選定され、昨年8月より実証運行をしている。その実績を毎月報告させていただき、現状への理解と利用促進を図りたいと考えている。

<u>6月度の乗車実績：</u>
・R5年6月の実証運行の日数は13日、乗車実績は累計658人、一日あたり平均50．6人である。1便当たりは6．3人。50人を超えた日は7日、60人を超えた日は2日あった。オープンガーデンのユリ鑑賞に行くイベントの日は多くなった。
・このようなイベントを行うのは、①実際にコミバスに乗っていただき、メリット・デメリットを実感していただきたくため、また、②新しい事業を育て定着させるためにはサポートが必要であるためである。
・午前乗車の割合は6割、午後乗車が4割と、午前乗車が多い。いそかわ協賛キャンペーンのお陰もあり、いきいきホール前での降車は16％（107人）を占めている。
・登美ヶ丘まで行く利用者は36％、登美ヶ丘からの乗車は41％と、駅への利用

が4割を占めている。
・地区別の乗車割合は、東地区19％、西地区34％、南地区18％、北地区29％である。ユリ鑑賞会があったため西地区が多い。
・実証運行が始まった昨年8月から今年6月までの11カ月間では、運行日数が135日、利用者合計は6238人、1日あたり平均は46．2人と、前月までに比べて1日あたり0．5人増えている。収入比率は30．7％であり、本格運行を判断する市の基準はクリアしている。
・いそかわ協賛キャンペーン開始後の6カ月弱の累計では、それ以前より1日あたり3．8人（46％）増加している。

情報：　生駒市では8月3日～5日、市内乗車の場合のバス料金を100円とするキャンペーンを実施する。コミバスも対象になっているので周知していただきたい。登美ヶ丘駅は奈良市だが、登美ヶ丘駅からの乗車でも鹿ノ台で下車する場合にはキャンペーン料金が適用される。

支え合い委員会

活動紹介冊子の配布について：
・支え合い委員会の活動紹介冊子が完成し、全戸配布した。
・この活動について、自治連合会の事務所に電話はまだかかってきていない。
・以前のアンケートでお困り事があると答えていた方々に電話するところから始めたい。

次回

日時：　2023年8月20日（日）13：30～16：30
第I部　　全体会　13：30～15：10
第II部　　分科会　15：15～16：30

「東西」の構成員および幹事は13：15集合

場所：　西集会所

以上